

2024 年度の製薬会社に対する患者団体の意見 —アジア編

プレスリリースの解禁日時:

2025 年 8 月 29 日午前 6 時(グリニッジ標準時)

お問い合わせ: Alex Wyke

電話: +44-(0)-7960-855-019

メール: report@patient-view.com

ロンドン 2025 年 8 月 29 日

概要

PatientView は 2024 年 12 月から 2025 年 2 月にかけて、アジア太平洋地域の 314 の患者団体を対象に、2024 年度の同地域における製薬業界のパフォーマンスに関する意見を収集しました。そして本日、以下のアジア地域 4 か国に焦点を当てた「製薬業界の企業評価」調査の結果を発表します。

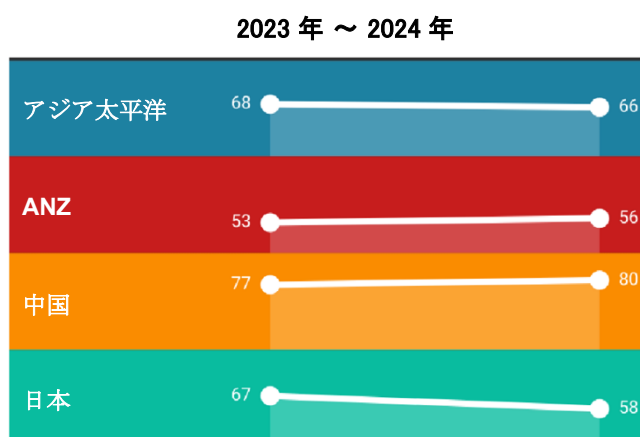
- ▶ ANZ(オーストラリア+ニュージーランド) - 79 の患者団体が回答。
- ▶ 中国 - 53 の患者団体が回答。
- ▶ 日本 - 71 の患者団体が回答。

「製薬業界の企業評価」調査に回答した患者団体は、患者の体験を理解しており、医療制度内でも多くの利害関係者とネットワークを形成しているため、製薬業界や各製薬会社に関する意見を述べる上で独自の視点を持っています。アジア太平洋地域の患者団体も例外ではありません。

2024 年のアジア太平洋地域の業界全体の結果

製薬業界の企業評価

「優れている」または「良い」と回答した団体の割合



アジア太平洋地域（および評価対象の各 4 か国）を拠点とするほとんどの患者団体は、2024 年における製薬業界の企業評価を「優れている」または「良い」としています。しかしながら、ANZ と中国の患者団体が 2024 年に製薬業界の評価が改善したとしているのに対し、日本の患者団体は製薬業界の評価が落ちていると見ています（2024 年に製薬業界の企業評価を「優れている」または「良い」とした日本の回答患者団体の比率は 58%でしたが、前年度 2023 年は 67%でした）。

2024 年「製薬業界の企業評価」調査に回答したアジア太平洋地域の患者団体のほとんどは、製薬業界が**患者にとって有益な製品の創薬**および**患者団体との関係**という 2 つの重要な活動において優秀であると認めています。

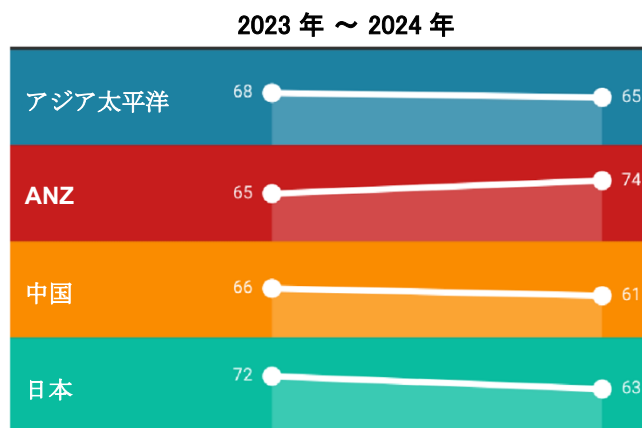
特に:

- 2024 年のアジア太平洋地域の回答患者団体の 65%は、患者にとって有益な製品を提供するという点で業界を「優れている」または「良い」と評価しています。さらに ...
- 57%は業界の患者団体との関係を「優れている」または「良い」と評価しています。

しかし、これらの両活動における製薬会社のパフォーマンスは、対象 4 か国の間でばらつきがあります。2024 年の ANZ の回答患者団体の 74%が、ANZ の患者にとって有益な製品を提供するという点で製薬会社を「優れている」または「良い」と捉えている（前年度 2023 年より増加）一方で、製薬会社の ANZ の患者団体との関係を「優れている」または「良い」と考えているのは 47%のみでした（前年比減）。また 2024 年の日本の回答患者団体は、日本において製薬会社の両主要領域のパフォーマンスが低下していると評価しています。一方、2024 年の中国の回答患者団体の見解は、前年度 2023 年とほとんど変わっていません[下図参照]。

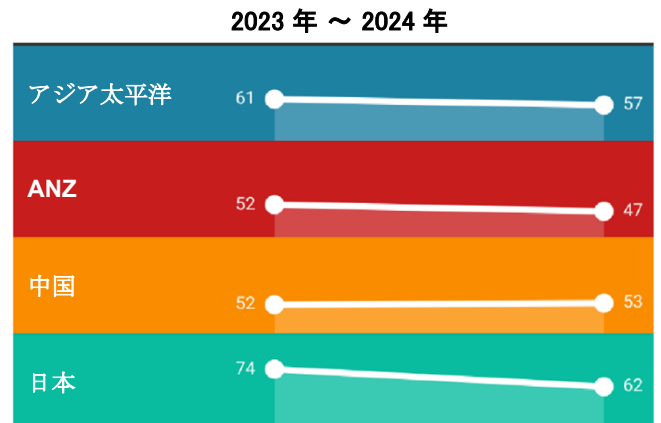
患者にとって有益な製品の提供

「優れている」または「良い」と回答した団体の割合



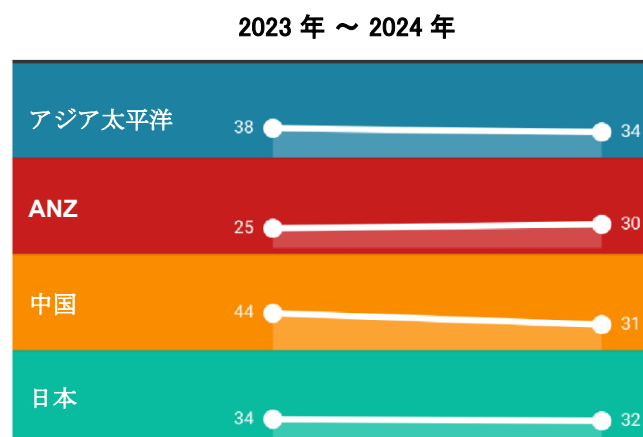
患者団体との関係

「優れている」または「良い」と回答した団体の割合



医薬品アクセスの提供

「優れている」または「良い」と回答した団体の割合



これに対して、2024 年度はアジア太平洋地域の回答患者団体は、製薬業界の企業評価の他の側面を不十分だとみなしており、特にアジア太平洋地域の患者に対する**医薬品アクセスを改善**するための製薬会社の実績が挙げられます(2024 年のアジア太平洋地域の回答患者団体の中で、製薬業界を「優れている」または「良い」と評価したのはわずか 34%でした)。この割合は 4 か国すべてにおいて同じように低く、2024 年の ANZ の回答患者団体のうち、ANZ の患者に向けた医薬品アクセスの改善に関して製薬業界を「優れている」または「良い」としたのはわずか 30%でした。

2024 年度の製薬会社に対するアジア太平洋地域の患者団体の意見

アジア太平洋地域の患者団体からは、2024 年「製薬業界の企業評価」調査において、製薬会社がどうすれば患者により良いサービスを提供できるかに関する詳細なフィードバックが寄せられ、優先事項としてアクセス、コミュニケーション、医療制度との連携といった領域が浮き彫りになりました。

「コンパッショネート使用制度と特別アクセス制度の件数と範囲を増やすこと。オーストラリアでもっと臨床試験を実施すること。特に臨床試験のない製品や希少疾患向けの医薬品に関して、患者の早期アクセスを可能にする持続可能な資金提供モデルを開発するために政府と協力すること。」
—全国希少疾患患者団体(オーストラリア)

「1.医療保険セクターと連携・交渉して、より多くの医薬品を医療保険償還リストに加えるよう努力すること。2.より多くの医療機関や薬局と協力関係を築き、医薬品の販売範囲を拡大すること。3.医薬品の役割、効能、適用対象者、使用方法に関する情報を含め、患者や一般大衆に医薬品に関する知識を広めること。」

—全国皮膚疾患患者団体(中国)

「医薬品の研究開発に関する情報提供。製薬会社、卸売業者、医療機関の在庫状況の一元化。国民健康保険制度の下での新時代(分子標的薬、重粒子線がん治療など)の適切な医療費負担の調査。画期的な新薬による病気からの解放、および医薬品の関係性と適切性。」

—全国アレルギー患者団体(日本)

2024 年のアジア太平洋地域の企業の結果

2024 年「製薬業界の企業評価」調査では、さらに 10 項目の企業評価指標[以下参照]に関する回答患者団体の評価に従って製薬会社にランキングを付けました。アジア太平洋地域 4 か国における 2024 年度総合ランキングの上位に選出された企業は以下の通りです。

トップ企業 – すべて「ビッグファーマ」

企業と協力関係にある回答患者団体の評価に基づく総合企業評価ランキング(2024 年)

ランキング対象 の企業数		1 位	2 位	3 位
ANZ	12	ベーリンガーイン ゲルハイム	サノフィ	ファイザー
中国	7	ギリアド・サイエンシズ	ロシュ	ノバルティスファーマ
日本	12	ノバルティスファーマ	ベーリンガーイン ゲルハイム、GSK	-

総括

PatientView の 2024 年「製薬会社の企業評価」結果からは、ANZ、中国、日本の患者団体が製薬業界をどう見ているか、さらに患者団体との関係を改善するための製薬業界の取り組みについて貴重な洞察が得られます。この結果は複雑な様相を呈しており、アジア太平洋地域では患者にとって有益な製品を提供しているという点で、製薬業界が比較的高い評価を維持しているものの、公平な価格政策、研究開発への患者参画、医薬品アクセスといった点では引き続き大きな課題が残っています。

企業評価は 10 項目の企業評価指標を使用して行われています。

患者団体により定義された患者団体にとって重要な問題



最後に、PatientView は、2024 年「製薬業界の企業評価」調査に時間を割き回答してくださったアジア太平洋地域の 314 の患者団体に心よりお礼を申し上げます。

アジア太平洋地域の回答患者団体は、製薬業界がアジア太平洋地域の患者のニーズや期待にどう応えているかに関する評価を共有することで、製薬会社に改善に向けた貴重な洞察を提供できていると感じています。

2024 年「製薬業界の企業評価」調査結果のアジア太平洋地域編で取り上げられた製薬会社の多くは、現在、患者中心の戦略を構築しているため、本調査のアジア太平洋地域の回答患者団体からのフィードバックを活用することで、企業モデルやアプローチを変えて、アジア太平洋地域の患者のニーズや意見をより反映した取り組みを行うことができます。

2024 年「製薬業界の企業評価」レポートのアジア太平洋地域 3 編 (ANZ、中国、日本) の詳細については、プレスリリースの冒頭に記載されている連絡先にお問い合わせください。

プレスリリースの終了